



# An Experiment in Progress

司法界の重鎮は最後に何を語ったか

**米最高裁リベラル派判事、退任メッセージ  
「民主主義はあなたたちに託されている」**

1994年から30年近くにわたって、アメリカ連邦最高裁判所判事を務めたスティーブン・ブライヤー氏が、1月27日にホワイトハウスで正式に引退を発表した。その際に行った演説では、エイブラハム・リンカンのゲティスバーグ演説から印象的な言葉を引きながら、米国憲法の根底をなす理念の素晴らしさを改めて説き、次世代を担う若者たちを鼓舞する、優しくも力強いメッセージを送った。



番組ホスト

**アンダーソン・クーバー**

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。'95年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。'05年、ピープル誌が選ぶ「セクシーで頭の切れる男性」の1人に選ばれる。2児の父。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。

演説者

**スティーブン・ブライヤー**

1994年から連邦最高裁陪席判事を務め、今年2022年退任予定。現在83歳で、現職の最高裁判事としては最高齢。スタンフォード大学、オックスフォード大学、ハーバード大学ロースクールで学んだ。1980年に第1巡回区連邦控訴裁判所に就任し、裁判官に。'90年から同裁判所長官。'94年、ビル・クリントン大統領により現職に指名された。



**61** ブライヤー判事、引退発表会見にて



**Stephen Breyer (in White House speech)**

Something I enjoy is talking to high-school students, grammar-school students, college students, even law-school students. They'll come around and ask me, "What is it you find particularly meaningful about your job?" And that's not such a tough question for me to answer. What I say to them is: "Look, I sit there on the bench, and after a while, the impression—it takes a while, I have to admit—but the impression you get is this is a complicated country. There are mo...more than 330 million people. And my mother used to say it's every race, it's every religion—and she would emphasize this—and it's every point of view possible. And it's a kind of miracle when you sit there and see all those people in front of you, people that are so different in what they think, and yet they've decided to help solve their major differences under law."

**in progress:** 《タイトル》進行中で  
**grammar school:** 小学校、初等中学校  
**law school:** ロースクール、法科大学院  
**come around:** やってくる  
**particularly:** 特に、とりわけ  
**meaningful:** 意義のある、重要な  
**tough:** 〈問題などが〉難しい  
**look:** 《話》あのね、いいかい  
**sit on the bench:** 裁判官を務める  
**after a while:** しばらくして  
**impression:** 印象  
**admit (that):** ~であることを認める  
**complicated:** 複雑な、込み入った  
**used to do:** よく~したものだ  
**race:** 人種  
**religion:** 宗教  
**emphasize:** ~を強調する  
**point of view:** 考え方、見地、見解  
**miracle:** 奇跡、奇跡的な出来事  
**decide to do:** ~しようと思意する  
**solve:** ~を解決する  
**under law:** 法の下で、法によって

**スティーブン・ブライヤー**(ホワイトハウスでの会見にて) 私の楽しみ  
の1つは、高校生、小・中学生、大学生、あるいは法科大学院の学生と話をすることです。彼らは私のところに来てこう聞きます、「あなたの仕事で、とりわけ意義があると感じることは何ですか」と。私にとってそれに答えるのはさほど難しいことではありません。私の答えはこうです。「あのね、私がそこに判事として座り、しばらくたってから得た印象は——正直に言うと、(気付くのに) 少し時間がかかりますが——この国はなんと複雑な国なのだろう、というものです。人口は3億3000万人余り。母がよく言っていました。この国にはあらゆる人種の人っていて、あらゆる宗教が存在する、と——そしていつも次のことを強調しました——あらゆる考え方が存在する、と。(そんな国で) 判事席から眺める光景は奇跡のようです。いろんな考えを持つ人たちが目の前にいて、それにもかかわらず大きな意見の相違を法の下に解決しようと思意しているのですから。」